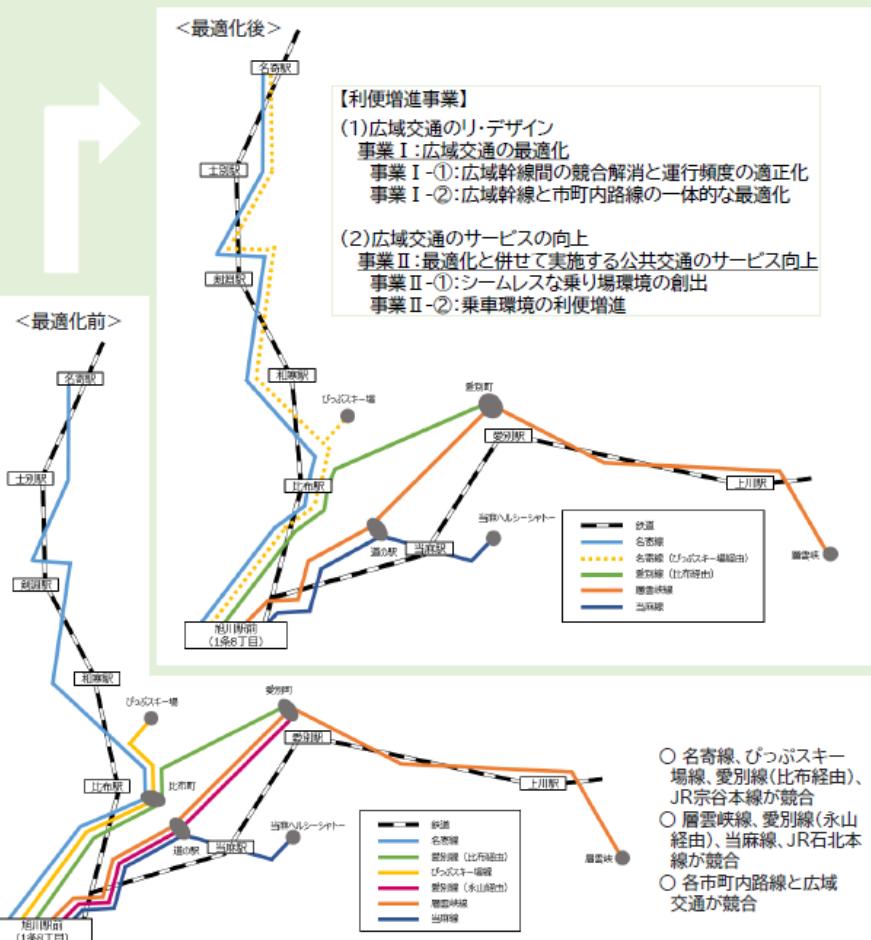


- 北海道上川地域の旭川市～名寄市エリアと旭川市～上川町エリアでは、一部区間において広域バス路線間での競合がみられるとともに、バスと鉄道も競合していることから、本計画による最適化を図ることで、二重に必要となっていた車両や人材、管理費用などの削減を図るほか、運行ダイヤや経路の調整とともに交通結節点を設けることにより、運行効率化と利便性の向上を目指します。
- 広域路線の最適化に加えて、各市町内のコミュニティ交通とも連携を図りながら、持続可能な形での広域的な公共交通ネットワークの確保を目指します。

最適化の方向性：最適化により持続可能な形での広域的な公共交通ネットワークの確保を図ります

- バスと鉄道、バスとバスがそれぞれ競合している
- 名寄線は比布駅を経由しない
- バスと鉄道間の乗り継ぎサービスはないなど
- 競合路線の解消
- 交通結節化による利便性の向上
- サービス向上策の実施



事業の内容

事業 I 広域交通の最適化

事業 I-① 広域幹線間の競合解消と運行頻度の適正化

- 各系統の運行頻度・ダイヤを調整
- 名寄線の一部をびっぷスキー場経由化

事業 I-② 広域幹線と市町内路線の一体的な最適化

- 比布町内の無料定期バスの運行を再編し、名寄線（びっぷスキー場経由）への利用に集約
- 層雲峡線及び当麻線と旭川市内の競合系統のダイヤを調整

事業 II 最適化と併せて実施する公共交通のサービス向上

事業 II-① シームレスな乗り場環境の創出

- 名寄線、愛別線を比布駅経由化
- 当麻線、層雲峡線の経路変更（旭川駅前）

事業 II-② 乗車環境の利便増進

- タッチ決済の利活用促進やWi-Fi設備の導入

事業の効果

事業 I 広域交通の最適化

- 運行効率性の向上による公共交通のサービスの確保

事業 II 最適化と併せて実施する公共交通のサービス向上

- アクセシビリティの向上、車内環境の充実、速達性の向上

作成自治体 北海道、旭川市～名寄市・上川町方面の市町

事業実施区域 旭川市～名寄市エリア（旭川市、士別市、名寄市、比布町、和寒町、剣淵町）
旭川市～上川町エリア（旭川市、当麻町、比布町、愛別町、上川町）

事業実施予定期間 令和6年10月～令和10年3月